



乳の社会文化ネットワーク  
乳の学術連合

- 応募資格 研究者ないし研究グループ（大学院生を含む）
- 委託金額 年間一件当たり原則として100万円以内
- 委託研究期間 原則として1年を超えないもの
- 選考方法 審査委員会が、各分野の専門家の意見を参考とし、審議決定します。  
審査委員会（五十音順）  
委員長 生源寺眞一（名古屋大学大学院生命農学研究科教授）  
副委員長 和仁皓明（西日本食文化研究会主宰）  
委員 江原絢子（東京家政学院大学名誉教授）  
大江靖雄（千葉大学大学院園芸学研究科教授）  
小長谷有紀（国立民族学博物館民族社会研究部教授）  
細野明義（（公財）日本乳業技術協会代表理事）

	テーマ	内容
特定研究	生活行動と牛乳乳製品の価値	牛乳乳製品の消費行動・価値意識の世代的・年齢的特徴、牛乳乳製品の価値継承や牛乳飲用習慣形成に関する要因分析、牛乳栄養の経済的評価など
	和食と乳の融合について	食における異なった文化の統合の意義を評価するとともに、和食時に牛乳飲用を忌避する意識や行動の意味付けなど
	我が国酪農乳業の産業的発展について	日本の乳マーケット及び酪農乳業が世界に類を見ないスピードで拡大し発展した背景の分析、日本の特徴の解明など
	子どもと牛乳乳製品について	子どもの食習慣形成における牛乳乳製品の役割に関する多面的・総合的な分析
一般研究	乳をめぐるリスクコミュニケーションについて	BSE、口蹄疫、放射性物質汚染などの最近における多様な疾病や災害に係る酪農乳業界のリスクマネジメント及びリスクコミュニケーションの評価や課題抽出など
	乳及び酪農乳業に関する社会的文化的視点からの研究	わが国における牛乳乳製品に係る食文化的意義、日本人の食生活の歴史的变化との関わり、わが国の酪農乳業の社会的経済的な意義など（他の国や民族との比較研究を含む）

上記への申請のうち8件程度を採用して研究者等を決定します

注)「牛乳」もしくは「乳」とは食品としての牛乳・乳製品を意味します。(「乳」にはヤギ乳・ヒツジ乳を含む)

「乳の社会文化ネットワーク」は、一般社団法人「Jミルク」と共同して、「乳の社会文化」に係る学術研究を公募します。

# 「乳の社会文化」学術研究の公募

平成26年度「乳の学術連合」学術研究

2013  
12/31<sup>火</sup>  
申請締切日

詳しくは Web から学術研究実施要領をダウンロードしてください <http://www.j-milk.jp/>

一般社団法人「Jミルク」内「乳の社会文化ネットワーク」事務局  
〒104-0045 東京都中央区築地4丁目7番1号 築地三井ビル5階 電話 03-6226-6352 FAX 03-6226-6354  
URL: <http://www.j-milk.jp/> 担当: 豊澤誠一郎 E-mail: s-toyosawa@j-milk.jp

平成 25 年 10 月吉日

研究者各位  
研究機関各位

乳の学術連合  
牛乳乳製品健康科学会議  
代表幹事 折茂 肇  
乳の社会文化ネットワーク  
代表幹事 和仁 皓明  
牛乳食育研究会  
代表幹事 角屋 重樹  
一般社団法人 J ミルク  
会 長 浅野 茂太郎

## 平成 26 年度「乳の学術連合」学術研究公募のご案内

謹啓 紅葉の季節、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は、当研究会の事業に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度「乳の学術連合」では、牛乳乳製品の価値向上に繋がる多種多様な情報を広く社会に発信する為、“平成 26 年度「乳の学術連合」学術研究”として、一般社団法人 J ミルクと共同し、構成組織である「牛乳乳製品健康科学会議」「乳の社会文化ネットワーク」「牛乳食育研究会」それぞれの分野に係る学術研究を下記の通り、広く公募することとなりました。

つきましては、公募の趣旨および要領をご理解頂き、「乳の学術連合」学術研究公募への積極的なご参加ならびに関係者各位の御承引を戴きますようお願い申し上げます。

謹白

### 記

#### I. 平成 26 年度「乳の学術連合」学術研究

組 織	分 野	研究対象
牛乳乳製品健康科学会議	「牛乳乳製品健康科学」	牛乳乳製品の価値向上に繋がる医学・栄養学・食品科学・体育学等の分野の課題
乳の社会文化ネットワーク	「乳の社会文化」	乳の社会文化価値
牛乳食育研究会	「食に係る教育」	食に係る教育の新たな知見

#### II. 公募期間

平成 25 年 11 月 1 日（金）～平成 25 年 12 月 31 日（火）

#### III. 学術研究公募内容

各分野の公募内容については、別紙 1～3 をご参照ください。

## II. 「乳の社会文化」学術研究の公募について（乳の社会文化ネットワーク）

### 「乳の社会文化価値」に係る学術研究

#### 1. 募集（申請）期間

平成 25 年 11 月 1 日（金）～平成 25 年 12 月 31 日（火）必着

#### 2. 募集テーマ・内容

##### （1）特定研究

	テーマ	内 容
①	生活行動と牛乳乳製品の価値	牛乳乳製品の消費行動・価値意識の世代的・年齢的特徴、牛乳乳製品の価値継承や牛乳飲用習慣形成に関する要因分析、牛乳栄養の経済的評価など
②	和食と乳の融合について	食における異なった文化の統合の意義を評価するとともに、和食時に牛乳飲用を忌避する意識や行動の意味付けなど
③	我が国酪農乳業の産業的発展について	日本の乳マーケット及び酪農乳業が世界に類を見ないスピードで拡大し発展した背景の分析、日本の特徴の解明など
④	子どもと牛乳乳製品について	子どもの食習慣形成における牛乳乳製品の役割に関する多面的・総合的な分析
⑤	乳をめぐるリスクコミュニケーションについて	BSE、口蹄疫、放射性物質汚染などの最近における多様な疾病や災害に係る酪農乳業界のリスクマネジメント及びリスクコミュニケーションの評価や課題抽出など

##### （2）一般研究

	テーマ	内 容
⑥	乳及び酪農乳業に関する社会的文化的視点からの研究	わが国における牛乳乳製品に係る食文化的意義、日本人の食生活の歴史的变化との関わり、わが国の酪農乳業の社会経済的な意義など（他の国や民族との比較研究を含む）

上記（1）、（2）の研究への申請のうち 8 件程度を採用して研究者を決定する。

注）「牛乳」もしくは「乳」とは、食品としての牛乳・乳製品を意味する。（「乳」にはヤギ乳・ヒツジ乳を含む）

3. 応募資格

研究者ないし研究グループ（大学院生を含む）

4. 委託研究期間

原則として、1年を超えないものとする。

5. 委託金額

年間1件当たり、原則として100万円以内とする。

6. 選考方法

「乳の社会文化」学術研究審査委員会が、必要に応じ各分野の専門家の意見を参考とし、審議決定する。

<審査委員会>

委員長	生源寺眞一（名古屋大学大学院生命農学研究科教授）
副委員長	和仁皓明（西日本食文化研究会主宰）
委員	大江靖雄（千葉大学大学院園芸学研究科教授）
委員	江原絢子（東京家政学院大学名誉教授）
委員	小長谷有紀（国立民族学博物館民族社会研究部教授）
委員	細野明義（(公財)日本乳業技術協会代表理事）

（五十音順）

7. その他

詳しい内容は、下記 Web より<学術研究実施要領>をダウンロードしてご確認下さい。

<一般社団法人Jミルク ホームページ> <http://www.j-milk.jp/>